土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　ハタガミ川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.6	**調査位置**	広島県江田島市江田島町鷲部一丁目			**北緯**	34° 13′ 43.5″
発注機関	広島県西部建設事務所　工務第一課			**調査期間**	2022年 11月 15日 ～ 2022年 11月 18日	**東経**	132° 29′ 2.4″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 95.14m	**角度**	180°、上下、90°、0°	**方位**	北 0°、270° 西、90° 東、180° 南	**地盤勾配**	水平0°、鉛直90°
総削孔長	5.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦 D1-B型	**エンジン**	ヤンマー　NFD-13	**ポンプ** 東邦　BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	94.44	0.70		砂		淡褐				玉石を混入する粗砂	
1 2 3 4				花崗岩		茶褐／淡灰褐				花崗岩の風化帯。 GL-2.00mまでは風化によりマサ土状となる。 以深、棒状コアで採取されるが、コア肌はざらざらしており、指圧で粒子が剥がれる状態である。 ハンマー打撃で土砂～岩片状に崩れる。 深度増すにつれ硬質となり、GL-4.70m以深、コア肌が比較的滑らかとなる。 DH級。	
5	90.14	5.00									
6 7 8 9											

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.00	75	19	31		50/200	200	
1.20							
2.00	300	50/50	0/0	0/0	50/50	50	
2.05							
3.00	167	50/90	0/0	0/0	50/90	90	
3.09							
4.00	375	50/40	0/0		50/40	40	
4.04							
5.00	500	50/30	0/0		50/30	30	
5.03							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				11/15
				11/16